



2016年10月13日 第2254回例会
10月第2例会

RIテーマ Rotary serving humanity
「人類に奉仕するロータリー」

本年度会長テーマ
「ロータリー活動 奉仕の覚醒」

「経済と地域社会の発展月間」「米山月間」

◆会長時間◆

森脇副会長



街の中にはのぼりがはためいています。秋祭りのシーズンに入っております。秋の収穫に感謝するのが秋祭りです。

先日山間の秋祭りに行ってきました。三分の二くらいの田は、稲刈りを終えておりました。最近は稲の種類も改良されて早く収穫されるようになってきたようです。

国の減反政策によって休耕田が目立ちます。休耕田ではなく休荒田として荒れています。江戸時代の篤農家の二宮尊徳は、「田の荒れているのは心が荒れている」といった意味のことをいっています。日本人の心の荒廃は防ぎたいものです。

今年は台風がたびたび襲来し、東日本・九州・北海道に甚大な被害がでました。せっかく手間ひまをかけた稻が収穫間近に被害にあうというのは実に悲しいことです。昔の人は、これに備えた備蓄をしたといいます。今でも「社倉」という倉が残っています。そこに、いざという時のために米を備蓄していました。

日本人は食料の不足することはないと思っていますが、自給率は年々低下してきています。何かが起こった時には、と考える昨今です。世界では食料がなく餓死する人も多いのが現状です。日本は恵まれています。

今月は「経済と地域社会の発展月間」です。意

味するところはさまざまですが、祭りは地域の絆を強めるものです。地域社会の精神的な中心で欠かせないものです。

ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェロー襟ピンの伝達



第4回 井原俊彦君

片山常明君退会挨拶、バナー贈呈

退会挨拶

この度、大変申し訳ありませんが、広島西ロータリークラブを退会することとなりました。

私は、岡野さん、浜井さんの推薦を受け2013年7月に入会させていただき、4年目になりました。今年度は地域・環境委員長を拝命し、しっかりとその任を果たす所存でしたが、先般、香港に在るグループ会社のリニューアル事業の立上げ・拡大を命ぜられたことにより、今後、香港への渡航・打合せ等が頻繁になり、例会や事業活動への参加が難しくなるとの判断から、止む無く退会を決意しました。わがままを言いますが、ご理解いただきたくお願ひいたします。

香港は、昇降機保全台数5,700台程ですが、歴史は古く香港の会社も今年50周年を迎えます。従って、昇降機もそれなりに経年してますが、リニューアルが殆ど進んで無い状態であり、その事業拡大を指示されました。事業拡大と言っても国民性や行政の考えも日本とは異なり簡単では無いと思いますが、ロータリークラブでの経験も生かしながら、頑張る所存であります。今のところ、中国支社も見ながら香港事業も…と言うことで、体は、広島に在りますので街で見かけたときにや、「オイ」と声を掛けていただければ幸いに思います。

最後になりますが、今後の広島西ロータリークラブのご隆盛を祈念し、退会の挨拶といたします。ありがとうございました。

●会務報告 新原幹事

※次週例会は夜間例会に変更となっておりますので、お間違えの無いようお願いいたします。

●第3回理事会

日 時 2016年9月1日(木) 13:40~14:55
場 所 ANAクラウンプラザホテル広島 4階
「アマリリス」

報告事項

- ・理事及び委員長活動状況について
- ・第2回合同事務局運営委員会報告
- ・8月28日地区指導者育成セミナー報告
- ・八幡川リバーマラソン実施お礼報告

審議事項

- ・第2回理事会議事録の承認について
- ・新会員 吉井浩之君 入会承認及び推薦者変更について
- ・7月28日夜間例会並びに会員懇親会活動報告
- ・10月27日職業訪問例会について
- ・広島市西部こども療育センター「なぎさ園」への電動移動装置寄贈について
- ・子ども見守りジャンパー寄贈について
- ・11月卓話プログラムについて
- ・10月6日米山強調プログラムについて
- ・「ロータリー財団100周年記念シンポジウム」協力金について
- ・米山梅吉記念館 全国一人100円募金運動への

協力について

- ・次年度理事役員選挙要領に基づく指名委員の選定依頼について

協議事項

- ・園尾恵三寄付金特別会計について

●委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 荒川君

本 日 (10月13日・木曜日)

会員数 86名 出席者 71名

欠席者 15名 ご来客 1名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 72名

前々回 (9月29日・木曜日)



出席率 100%

※ S A A 井下委員長

例会食事メニューの充実と会員相互の会話の促進を図ることを目的として、バイキングの実施についてアンケート調査を行ないましたが、回答をもとにS A A委員会で協議し、洋食とバイキングを交互に併用する意見でまとまり、アフターコーヒーの実施と併せて理事会の承認を得ました。

初回のバイキングは11月第2例会、11時50分食事開始とします。お間違ひがないように例会受付カウンターの上に2ヶ月分の食事メニューを置かせていただきます。

※ 会報雑誌・広報委員会 柳原君

ロータリーの友誌紹介

※ 国際交流・姉妹クラブ友好委員会 木本委員長

IFWFR 第19回 国際親善宮島

ウォーキング開催のご案内

国際親善宮島ウォーキングは、広島在住の外国人留学生とロータリーメンバー及びその家族が、一緒に世界遺産宮島を散策することを通じて親善交流を図るもので、奮ってご参加ください。

日 時 2016年11月13日(日)

9:00 集合・受付

(ANAクラウンプラザホテル広島前)

～貸切バスとフェリーにて移動～

● 同好会報告

紫友会 隅田世話人

紫友会10月例会のご報告

紫友会第4回例会は10月8日(土)、芸南カントリークラブにて総勢20名で行われました。天候が心配されたなか、なんとか雨には降られずに開催できました。

優勝者は、アウト40 イン37 グロス77 HD 12.6 ネット64.4で田中君がシニアの部と同時にダブル優勝されました。準優勝は、アウト44 イン42 グロス86 HD18 ネット68で木本君、3位は、アウト44 イン47 グロス91 HD18 ネット73で金本君でした。ベスグロは、アウト36 イン40 グロス76 HDプラス3.3 ネット79.3でおなじみの田原君でした。ブービー賞は浜井君でした。

次回第5回例会は11月13日(日)、今回と同じく芸南カントリークラブです。当日は、西南ロータリークラブ、廿日市ロータリークラブとともに3ロータリー合同懇親ゴルフ大会と同時開催になりますので、奮ってご参加の程、宜しくお願ひいたします。

● 会員記念日

祝 連続出席100% (6名)

大本君 (24年)	森信君 (22年)
木村君 (17年)	土井君 (17年)
新原君 (15年)	蓼原君 (1年)

連続出席15年 新原 靖君に記念品贈呈



おめでとうございます。

(13名)

柴田君	垂井君	新本君	刀禰君
森信君	木本君	簞君	豊岡君
松岡(幹)君	荒谷君	金本君	
浜井君	田中君		

●スマイルボックス SAA 柴田君

豊岡君・三浦君・楠原さん (自主申告・大枚)

「芸術の秋といいますか?」広島西RC3人展を行います。先ず楠原さんは、元会長の川西君の似顔絵でご存知の通り、絵の才能はたいしたものですが、この度は仏像彫刻のこと、素晴らしい作品は勿論、仏像も本人にどこか似ているのではないかと思います。次に三浦君は親族にプロの画家さんがおられるとのことで、昔から描かれていたようです。この度、再開されたとのことで、アッと驚く素晴らしい作品を出展されました。最後に私豊岡は、最近3人目の先生について画風が変化しつつあるようです。3人3様の作品を楽しんでいただけたら幸いです。皆様に感謝申し上げて大枚を出宝させていただきます。



● 紫友会

優勝 田中君、シニアの部の優勝と併せてトリプル。

2位 木本君

3位 金本君

●スマンボックス

柴田君

先週、私柴田は、スマイル時の自己紹介の時に、事もあろうか上田君のお名前がなかなか出て来ず、大変な失敗をしてしまいました。ド忘れにもほどがあると言うことで、スマンボックスに出宝いたします。

● 卓話予告

日時	テーマ
10/27(木)	職場訪問例会

■卓話



ロータリー研修 「誰にも聞けないロータリーの基礎知識」

ロータリー情報委員会
諏訪 昭浩 委員長



誰にも聞けないロータリーの基礎知識

新会員向けロータリー情報冊子から学ぶ
ロータリー情報委員会
2016. 10. 13



ロータリーとは？

- ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した事業人および専門職務に携わる人が、世界的に結び合った団体です（2007年までの「手続要覧」からの引用）
- ロータリーには、「利己」（自分を利すること）と「利他」（他人を利すること）の調和を図り、他人を幸せにしながら自分も幸せになるという考え方があります



ロータリー情報研修 2

クラブとは？

ロータリアンはロータリークラブの会員
ロータリークラブは国際ロータリー（RI）に加盟
ロータリアンはRIの会員ではありません！
各クラブはRIの定める定款を採用する義務があるが広範囲な自治権を持って運営される
クラブはRIの下部組織ではなく対等な関係



ロータリー情報研修 3

地区とは？

- RIが加盟クラブを管理する上で定めている
世界：537地区（日本：34地区）
- 当クラブは第2710地区（RID2710）（広島・山口県）に属する（広島県43クラブ 山口県30クラブ 合計73クラブ）
- 73クラブは12のグループに編成されている
在広13クラブ+大竹RC(14クラブ)はグループ6と
グループ7に属する
- 当クラブはRID2710のグループ7に属する



ロータリー情報研修 4

ロータリーの誕生

1905年2月23日、米国イリノイ州シカゴで誕生
(シカゴ・ロータリークラブは当クラブと友好関係)

<時代背景>

著しい経済発展の陰で荒廃し、商道徳が乱れきっていた



互いに信頼できる公正な取引ができ、語り合える楽しい仲間を増やしたい！

ポール・ハリスと3人の仲間



ロータリー情報研修 5

原始ロータリーは奉仕団体ではなかった！

誕生当時、ロータリーでは会員の利益（利己）が重視され、ロータリーに入会すれば儲かるとさえ言われた（実際にそうだったようです）

人のためになるという視点は存在しなかった！

世界に広がっていく発展の歴史の中で、ロータリーは独自の奉仕の理念を確立させていった



ロータリー情報研修 6

日本のロータリーの歴史

日本で最初のロータリークラブは1920年(大正9年)に創立された東京ロータリークラブ。創立には米山梅吉などの先達の大きな功績があった。

第二次世界大戦が始まると1940年に国際ロータリーからの脱退を余儀なくされた(戦後1949年には再び復帰)

ロータリー財団への貢献度も非常に大きく、国際ロータリーの中での日本の地位は揺るぎないものとなっている



ロータリー情報研修 7

奉仕(らしきもの)の誕生

元々は会員の利益と親睦を目的としたもの(互恵主義)
世の中に奉仕することは想定されていなかった

初めて奉仕らしきものが生まれたのが、1907年(1909年実施)のシカゴ市への公衆トイレ寄贈

ただし、**奉仕理念**と呼べるようなものはまだ存在していない

奉仕理念が誕生するのは...



ロータリー情報研修 8

奉仕理念の誕生

1908年にシカゴロータリークラブに入会した経営学の大家アーサー・フレデリック・シェルドンがロータリーに経営学の理論を持ち込み、これが「職業奉仕」の原点となった(ロータリー最初の奉仕理念)

<職業奉仕とは？ 簡単に言うと...>

「利己」と「利他」の調和を図って正しく商売をすれば、それが業界の倫理水準を高め、ひいては自分のためにもなる。自分の職業を正しく行い、それを通して世の中に貢献するという考え方



ロータリー情報研修 9

シェルドンの提唱

物流機能の主たる担い手である商人のやり方次第で後世にぬぐい去ることができない社会的禍根を残す危険がある。その解決策として、商人の経営の場に「利己と利他の調和」を中心とする哲学理論を導入すべきである。

「利己と利他の調和」という考え方に基づいて日常的に事業活動を行えば、努力の結果として良質な利潤が得られ、地域社会から尊敬と信頼を受け、自分の企業の発展と地域社会の発展が同時に達成できる。



ロータリー情報研修 10

職業奉仕

ロータリーの奉仕理念は、まず「職業奉仕」として確立し、ロータリーは他の団体では果たせない独自の社会的使命を負うようになった。

「職業奉仕」はロータリーの根幹を成すものであり、**職業奉仕団体**であるということがロータリーの最大の特徴



ロータリー情報研修 11

職業奉仕 余談

最近の動向として、RIは巨大な資金力を持つロータリー財団と一体化するという発想で世界での存在感を増そうとしている

そのため、最近入会される方にとっては、ロータリーは**社会奉仕団体**であるとのイメージの方がしつくりくるのかもしれないが、ロータリーの**本質および最大の特徴**は「職業奉仕」にあるのだという視点を忘れてはならない



ロータリー情報研修 12

ロータリー分裂の危機と決議23-34

ロータリーの目指す奉仕は「社会奉仕」であるべきか「職業奉仕」であるべきか？という大論争が起こり、ロータリーは分裂の危機に見舞われた。その危機に終止符を打ったのが1923年のセントルイス国際大会で採択された、いわゆる「決議23-34」

ロータリーの奉仕理念について記述された唯一の公式文書で、現在でも重要かつ有効な文献で、文書名は「社会奉仕に関する声明」であるが、内容は社会奉仕だけにとどまらず、広くロータリーとは何かを明確に定義した(ロータリーの奉仕理念の確立)



ロータリー情報研修 13

決議23-34 が規定するロータリーの奉仕理念とは？

第1条はロータリーの奉仕理念(ロータリーそのもの)を定義している

「ロータリーは、基本的には、一つの**人生哲学**であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕-「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。」つまり…



ロータリー情報研修 14

ロータリーの奉仕理念を簡単に言うと…

ロータリーは人生哲学で、それは、そもそも矛盾する利己(自分を利すること)と利他(他人を利すること)の調和を図ろうとするもの。それは「超我の奉仕」の哲学であり、その実践原則が「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」であると規定している

「利己」と「利他」の調和はもともと職業奉仕の理念であるが決議23-34は、すべての奉仕に共通するロータリー哲学として規定した



ロータリー情報研修 15

ロータリーの奉仕とは元来「手段」であった

ロータリーの奉仕は、「ロータリークラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験」です(6-g)

忘れてはならない視点…

(元来)奉仕は「目的」ではなく、ロータリアンが人生哲学の実践によって職業人として人間として成長するための「手段」です！



ロータリー情報研修 16

2つの標語

超我の奉仕

Service above self (第1標語)

最もよく奉仕する者、最も多く報いられる
One profits most who serves best



ロータリー情報研修 17

「超我の奉仕(Service above self)」の意味することは？

「超我の奉仕(Service above self)」は自己犠牲を推奨しているものではない

利己(自分を利すること)に偏りがちな人間が、利他(他人を利すること)の精神を尊重し、その2つのバランスを取っていこうとするところに、人間として、職業人としての成長があるのだということを意味する
=利己と利他の調和を図って成長すること
(すなわち、これがロータリーという哲学)



ロータリー情報研修 18

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の意味することは？

奉仕(人の役に立つこと)を実践すれば、それが自分の経済的利益につながると言うことを意味してはいない

「報いられる」とは、経済的利益だけではなく、**充足感のような精神的利益**も併せてのことであり、また、人間として、職業人としての成長を意味している



ロータリー情報研修 19

特別月間

・会員増強・新クラブ結成推進月間	8月
・基本的教育と識字率向上月間	9月
・経済と地域社会の発展月間・米山月間	10月
・ロータリー財団月間	11月
・疾病予防と治療月間	12月
・職業奉仕月間	1月
・平和と紛争予防/紛争解決月間	2月
・水と衛生月間	3月
・母子の健康月間	4月
・青少年奉仕月間	5月
・ロータリー親睦活動月間	6月

※ ロータリー創立記念日2月23日は「世界理解と平和の日」とされています。
※ 8月は当クラブが独自で「平和月間」と定めています。



ロータリー情報研修 20

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 香川 基吉
幹事 新原 靖

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

